

## 4 . 将来像

### (1) 地域の将来像

# 江戸川の自然を活かし アートふる・ハートふるなまち

江戸川の自然環境を活かした生活や景観を背景に、商業地、工業地及び住宅地など、地域の様々な「顔」となる都市機能を充実させるとともに、良好な都市景観を形成し、「都市としての美しさ」(アートふる)を持ち、また、やさしさや思いやりなど、「人と人との交流やコミュニティ」(ハートふる)が生まれ、賑わい・文化・自然が調和しつつ、誰もがいきいき(生き活き)と暮らせる中部地域を形成し、次世代へ継承するまちづくりを目指したものです。



江戸川河川敷



## (2) 地域づくりの目標

### 水と緑に彩られ 文化を育む 豊かなまちづくり

江戸川や真間川の水辺環境と道路の街路樹の緑を、地域内の水と緑の軸と位置づけて、市民・事業者と行政の協働により、軸の枝葉となる身近な緑をつくり、また、歴史文化資源の保全・活用により、潤いと安らぎが感じられる豊かなまちづくりを進めます。

### 誰でも安心して生活できる 温もりと安らぎのあるまちづくり

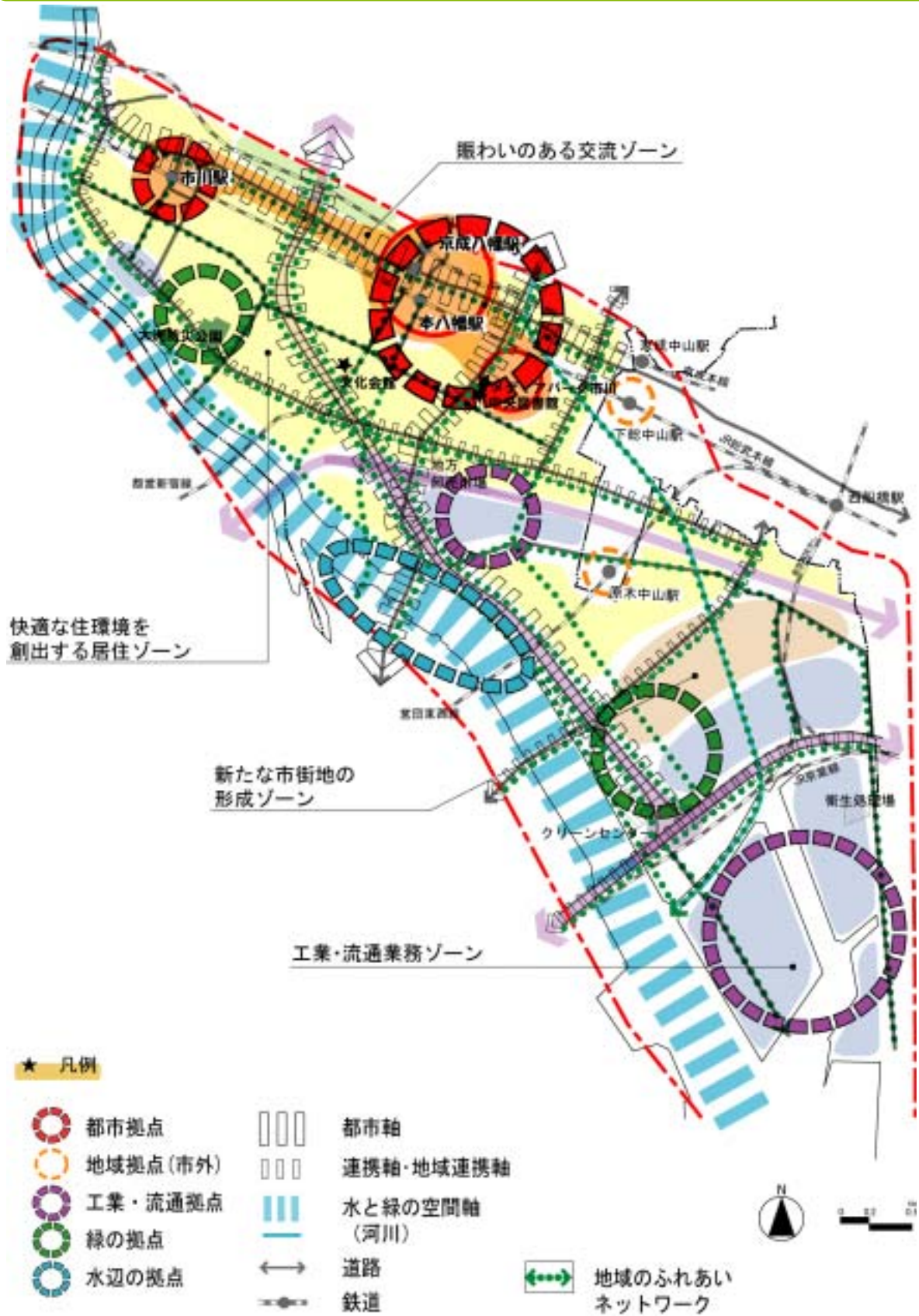
交流の場や周辺住民のコミュニティの場を創出し、昔ながらの人と人とのつながりを生み出すとともに、密集した市街地の改善や水害対策等を進め、災害に強く安全に安心して暮らせる都市空間の形成を目指します。

また、市民・事業者と行政の協働により、バリアフリー化を進め、誰もが安心して快適に活動できる、温もりと安らぎのあるまちづくりを進めます。

### 人々が楽しく集い 快適で暮らしやすく 調和のとれたまちづくり

道路や鉄道等による交通ネットワークと、江戸川をはじめとする水と緑のネットワークの形成により、活発な交流と連携を生みだし、活気あるまちづくりを進めます。また、住工混在の課題解消や市街化調整区域の適正な土地利用など、生活や産業と良好な環境が調和し、基盤が整った、快適で暮らしやすいまちづくりを進めます。

(3) 地域の将来構想



将来構造図の説明

- : 全体構想で位置づけられた拠点や軸
- : 地域別構想で位置づけられた拠点や軸およびゾーン

(1) 拠点

**都市拠点**

- 本八幡駅周辺～メディアパーク市川周辺
- 市川駅周辺

**地域拠点**

- 下総中山駅周辺 原木中山駅周辺

**工業流通拠点**

- 臨海部の工業地 田尻の工業地

**緑の拠点**

- 大洲防災公園～江戸川河川敷を含む周辺
- 江戸川や原木・高谷周辺の市街化調整区域

**水辺の拠点**

- 江戸川可動堰周辺

(2) 軸

**都市軸**

- 外かん道路周辺 国道14号周辺
- (都)3・4・18号(浦安鎌ヶ谷線)周辺

**連携軸**

- 産業道路((都)3・4・19号)周辺 (都)3・4・13号(二俣高谷線)周辺(妙典架橋含む)
- 湾岸道路周辺

**地域連携軸** (都)3・5・26号(鬼高若宮線)周辺

**水と緑の空間軸** 江戸川の広大な河川空間

**地域ふれあいネットワーク** 江戸川河川敷 真間川 主要な都市計画道路 等  
地域の貴重な水辺空間となる江戸川河川敷や真間川、人や自転車が安全・快適に移動できる空間を持つ地域内の主な道路等によるネットワーク

(3) ゾーン

**快適な住環境を創出する居住ゾーン**

- 市川駅、本八幡駅の南側に広がる住宅地
- 田尻、原木、高谷に広がる住宅地

様々な都市機能と共存しつつ、快適で安心安全な住環境を持つ居住ゾーン

**賑わいのある交流ゾーン**

- 市川駅周辺、本八幡駅周辺の拠点とそれをつなぐ国道14号沿いの商業集積地

都市拠点の機能を補完し、都市軸の沿道である利便性を活かした商業業務機能の充実を図るゾーン

**工業・流通業務ゾーン**

- 臨海部の工業地 原木・高谷・二俣の流通業務地 田尻の工業地 市川南・大洲の工業地

産業の集積したゾーンで、市川市の産業を支える、または、これまで市を支えてきた工業の操業環境を保全するゾーン

**新たな市街地の形成ゾーン**

- 原木・高谷・二俣の市街化調整区域

周辺の土地利用や地域における役割を踏まえ、地域の新たな市街地を形成していくゾーン